

宝 HD がタカラバイオに対する株式公開買付け開始を公表 ― 宝 HD の格付への影響は限定的

以下は、宝ホールディングス株式会社（証券コード：2531）がタカラバイオ株式会社（証券コード：4974）株式に対する公開買付けの開始することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は 2 月 13 日、連結子会社であるタカラバイオの株式を公開買付けにより取得することを発表した。本件に関して、タカラバイオは賛同の意見を表明している。全株式を取得した場合の想定買付代金は 541 億円となる。一連の取引終了後はタカラバイオは宝ホールディングスの完全子会社となる見込みである。
- (2) 当社の財務構成やキャッシュフロー創出力を踏まえば、本株式公開買付けが信用力に与える影響は限定的と JCR は判断している。一方、タカラバイオはライフサイエンス研究市場が冷え込んでいることで、業績の低迷が続いている。今般の完全子会社化により、宝ホールディングスグループ内での迅速な意思決定や経営資源の柔軟な投入などが期待できる。JCR ではタカラバイオの業績回復度合いとスピードを引き続き注視していく。

（担当）藤田 剛志・三浦 麻理子

【参考】

発行体：宝ホールディングス株式会社

長期発行体格付：A+ 見通し：安定的

発行体：タカラバイオ株式会社

長期発行体格付：#A/ホジティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル